

123

山原と団亀^{やんばる だんがめ}

亀の上に、あの、山原行つて山の中で便をしたら、
亀の上ではないと思つて、やったら、後で、この亀が
歩いてから、便が歩きよつたという話は。

「山原ぬ旅や、いくたびんさしが、糞ぬあつつしや、
くんどうつたび」(山原への旅は何度もしているが、
糞が歩くのを見るのは今度がはじめてである)という
歌がある。こんなんして、歌にもありますよ。

字大度 玉城登吉

類話

字糸満 稲嶺キク

字阿波根 島根茂治

字大度 玉城トシ